高校生国語現代文　文章問題を解く前に知っておきたい知識　００２　指示語

練習問題　Ｆ　次の文章を読んで、後の問に答えなさい。　解答と解説

スオメンリンナ島行きのフェリーはゆっくりと進んでいく。フェリーと言ってもそれほど大きな船ではなく、あくまで観光客を運ぶための定期航路の小さめの船といった感じだ。港を出港した時には何百メートルあるのかと思うようなあこがれの豪華客船もいたが、しばらく進んでいると次第にすれ違う船も少なくなる。途中で急に霧が濃くなり、周囲に他の船がいるのか全くわからないほどだが、その霧も気がついたらスッと無くなったり、また濃くなったり。

フェリーに乗りながら以前に行った広島の宮島をふと思いだす。ちょうどフェリーの大きさも似ているし、島へと着くのにかかる時間もほとんど同じような感じだ。しかも到着する島は世界遺産という共通点も。

大きな違いがいくつかあるが、その一つは気温だろう。宮島の秋はまだまだ半袖シャツでも十分なほどだったが、スオメンリンナ島の秋は長袖にさらに羽織ものでちょうどいいくらいの涼しさだ。さらにあの時は天気も良かったせいもあり、裸足になって海に入っていく人も多く見かけたが、こちらは薄手のダウンジャケットを着ている人もいるくらいだから、海に入っていく人などいない。

この島はあちらこちらに、かつては要塞だったという跡が残されている。敵艦を撃つための大きな大砲が海に向かって設置されているし、島の中も城壁が長く横たわっている。歴史的には、ロシアとスウェーデンという二つの大国に挟まれているので、フィンランドはどうやら長い期間危機にあったようだ。

しかし現在この島は、首都ヘルシンキの港からフェリーで短時間で来ることができる世界遺産の観光地であり、近くに住む地元民の憩いの場所のようだ。島の中を歩いているだけで海と雲と岸壁が調和している風景に出会えるし、まるでフランス印象派の画家が描いた庭を思わせるような草花たちと小さな池は、どこか現実離れ感のする空間だ。

違いと言えば、お土産屋さんやカフェなどのショップが多さも上げられる。あちらはお土産屋やカフェ、食事処が並ぶ観光通りのようなものがあった。こちらにもそうしたお店はあるのだが数はそれほど多くは無いし、特にお土産店は大きめのショップが一つで、他は小さなお店が数店舗という程度だった。

帰りのフェリーに乗ってヘルシンキの港に着くと、賑わいが一気に感じられる。ヨットやボートも停泊しているが、いつかは巨大なこれに乗ってみたいと思いなら、写真を撮っておいた。

（戚堰　杏「秀逸なゼクエンツ」より）

問一　こちら　の指し示す内容を、本文から十字以内で書き抜きなさい。句読点は含めない。

スオメンリンナ島　八文字

問二　あちら　の指し示す内容を、本文から三字で書き抜きなさい。句読点は含めない。

宮島　二文字

指筆者はスオメンリンナ島にいる視点で書いているので、あちら　は日本の宮島ということになる。

問三　これ　の指し示す内容を、本文より五字以内で書き抜きなさい。句読点は含めない。

豪華客船　四文字

指示語の内容の位置が遠い問題